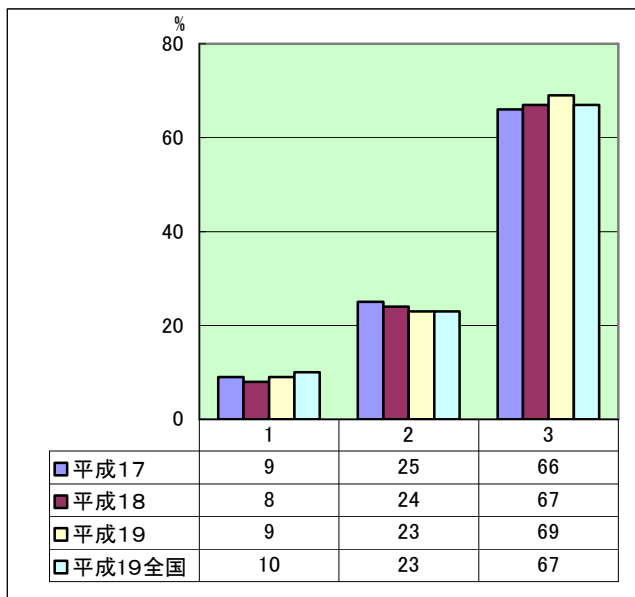


こどものすがた

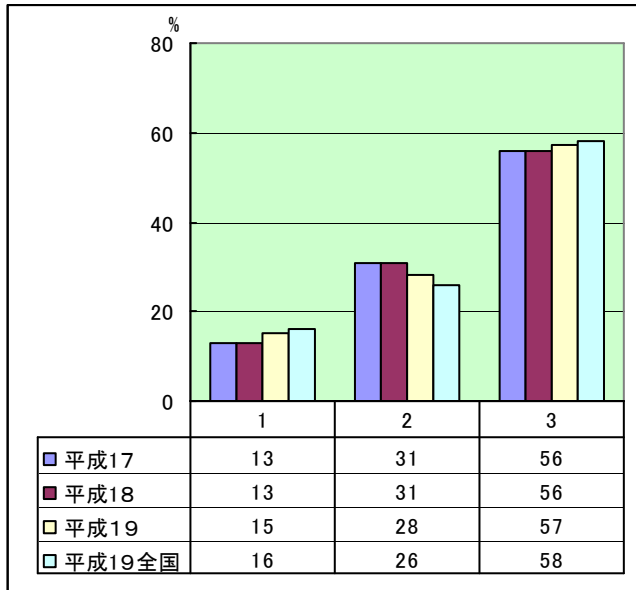
< 学 習 面 >

○ 到達度検査の結果（平成19年度）（平成19年5月実施，対象 全小学校5年生・全中学校2年生）

<小学校国語>

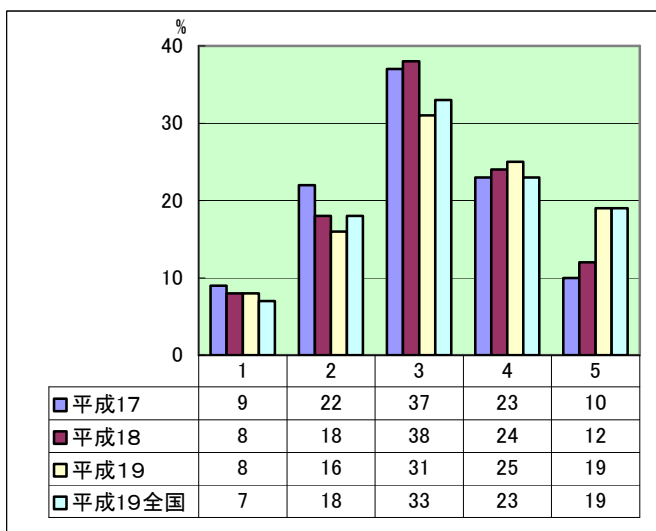


<小学校算数>

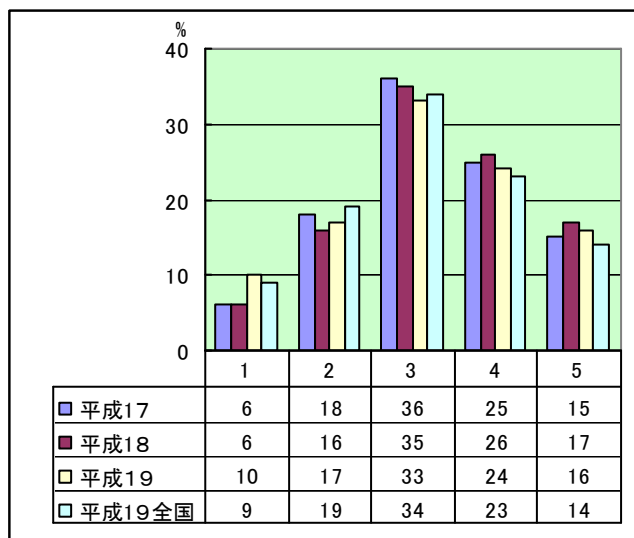


○ 小学校の国語・算数は，全国と比べてほぼ同水準の結果です。国語は，書く力の育成が課題としてみえてきました。算数は，昨年度に引き続き，特に「分数」の理解と数学的思考力の育成が課題です。

<中学校社会>

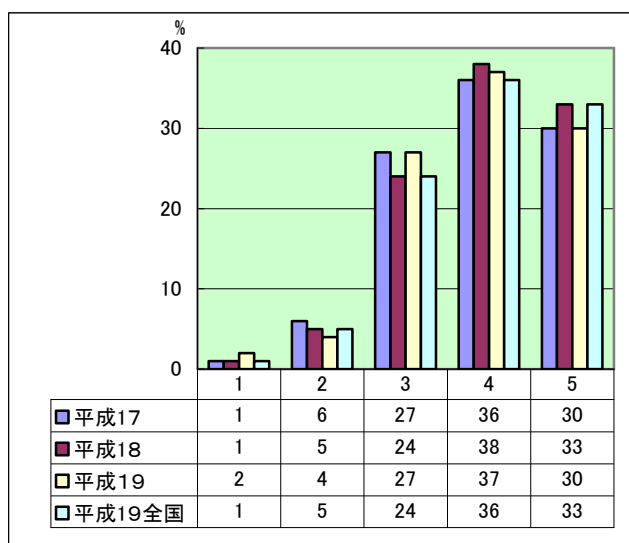


<中学校数学>

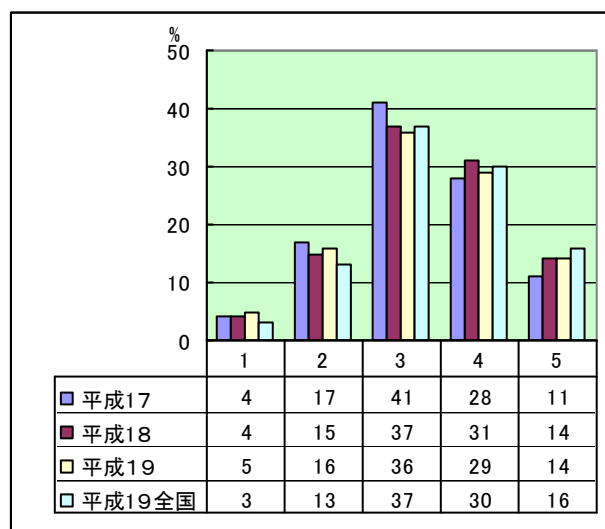


○ 中学校の社会・数学は，全国と比べてほぼ同水準の結果です。社会は，資料（特にグラフ）の読み取りが課題です。数学は，小学校算数と同様，知識の確かな理解と思考力の育成が課題です。

<中学校国語>

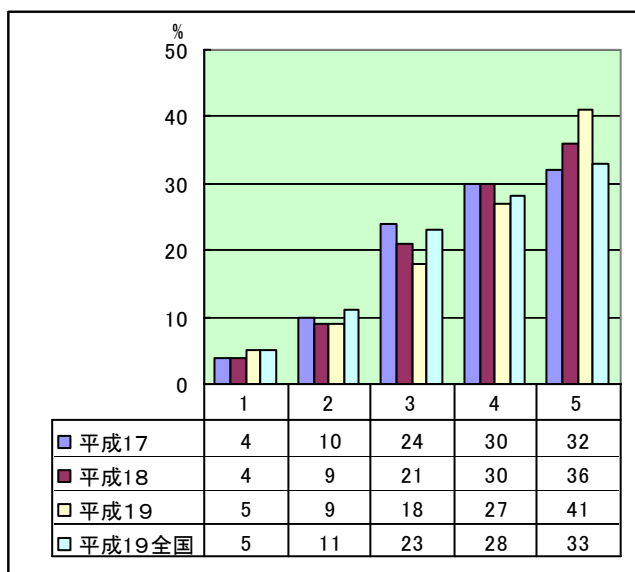


<中学校理科>



○ 中学校の国語・理科は、全国の水準をやや下回る結果になっています。国語は、特に言語事項の定着が課題です。理科は、昨年度までの課題であった「大地の変化」の内容が全国レベルに改善されましたが、科学的思考力の育成が課題です。

<中学校英語>



○ 中学校の英語は、3年連続で上位層が増加するなど、きわめて優れていることが、本年度の検査からも確認されました。

特に、「理解の能力」は、昨年度に引き続き、7割以上の生徒がA評価（十分満足）となっています。

【評定について】

小学校：1 努力を要する 2 おおむね満足できる

3 十分満足できる

中学校：1 一層努力を要する 2 努力を要する

3 おおむね満足できる 4 十分満足できる

5 特に十分満足できる

◎ 改善のための取り組みについて

今年度は、「学びの一体化」の取り組みの中に、各教科部会を位置付け、到達度検査の結果分析を行い、日々の授業改善の工夫について協議してきました。その結果、各教科共通の課題として明確になってきたのが、「活用」と「学び合い」の重要性です。

各学校では、学びの一体化推進協議会がまとめた提言等も参考にし、これら2つを今後の授業づくりの視点として取組を進めます。

● 本到達度検査の結果は、子どもたちの学習のある特定の一部分を示すものです。従って、この調査では把握できない大切な学力もあります。